



ちば「炎の仲間」

発行
 社団法人千葉県LPガス協会広報委員会
 〒260-0024 千葉市中央区中央港1-13-1
 TEL 043-246-1725
 FAX 043-243-6781
 E-mail: chibalpg@chibalpg.or.jp
 http://www.chibalpg.or.jp
毎月10日は保安の日

予算総会は、3月14日(木)開催 12月定例常任理事会開催

去る12月13日木曜日、13時30分から千葉県ガス石油会館において、定例常任理事会が開催されました。
第46期予算総会が平成25年3月14日木曜日に千葉県ガス石油会館5階において開催されることとなりました。

【会長あいさつ要旨】

今後の大災害に備えて創設しました「防災基金」の説明会とその受付を1月から各地区で順次開催しております。「防災基金」の創設は、当協会の防災の大きな柱となります。

この防災基金は、大災害が発生した時の見舞金や避難所等へのLPガス供給設備の設置補助金などに利用させていただきます。是非、御理解いただき、御協力をお願い致します。

また、昨日、関東ブロックの1都10県のLPガス協会会長が集まって「災害時相互支援協定」を締結いたしました。

この協定は、大災害が発生した場合に、各協会が相互に協力し被災地域を支援することを目的としています。

今回の多数の議題についてご検討の方よろしくお願いたします。

【議事概要】

議題1 協会の組織(委員会構成)等について (審議事項)

上部団体の全国LPガス協会の組織図を参考とした当協会の組織図並びに委員会規程(案)について承認された。

委員会の編成について、12月11日に行われた保安PJ委員会にて理事の意向を尊重し、活動を希望する委員会(総務委員会除く)を伺ってもらいたいとの要望があり、承認された。

議題2 理事会並びに予算総会の延期について (審議事項)

議長は、1月17日に予定していた理事会並びに予算総会について、下記理由にて3月14日(木)へ延期することについて承認された。

- ① 千葉県ガス石油会館の解散に伴う協会持分である土地処分が確定していないので、予算編成ができない。
- ② 平成25年度当協会委員会編成に変更がある予定であり、事業計画が策定できない。

議題3 防災基金の創設説明会及び申込み状況について (報告事項)

議長は、事務局に説明を求め、資料に基づき報告を行った。

議題4 経済委員会より付託された「避難所に指定された施設等への普段からのLPガス供給に関する要望書」について (説明会)

千葉県防災計画に基づき、「東日本大震災を踏まえた今後のLPガス安定供給の在り方に関する調査」報告書・首都直下地震に係る首都中枢機能確保検討会報告書・「公立学校施設整備に関する防災対策事業活用事例集」を参考に活用し、各市町村へ標記要望書の下記事項について要望していただくことを依頼した。

- 1 災害時に備えて、避難所・給食施設及びそれらに準ずる建物についてLPガスを燃料とする設備の設置
- 2 公用車にLPガス車の導入

また今ある設備を設置、応急的なものではなく、避難所をLPガス発電による電力供給の拠点にすることを今後の考え方としていただきたい旨の説明があった。
議題5 特定商取引法違反に該当するような訪問販売事例の収集について (依頼事項)

議長は、事務局に説明を求め、標記事例を収集し、行政へ届け出て指導してもらうために一都10県協会の連名で消費者向けのパンフレット(下記参照)を作成することとなった旨を報告した。事前に注文部数を取りまとめる必要から各支部にてパンフレット注文のとりまとめを依頼した。

なお、会員には、2月の会報といっしょにパンフレットと会長名の文書と申出書の見本を送付することとなる。

議題6 平成24年度LPガス使用状況について (報告事項)

事務局より資料に基づき報告を行った。

議題7 その他

- (1) 1都10県協会による「災害時相互支援協定」の締結について (報告事項)
- (2) 平成25年度周知パンフレットについて (依頼事項)
 来年度の標記パンフレットについては、消費者が内容を見て、理解していただけるように冊子の形となることについて説明し、支部長に周知パンフレット注文について1月末までにとりまとめを依頼した。

特商法パンフについて (特商法違反申出制度)

取引の適正化を図るために、特定商取引法違反の販売事例があった場合に消費者に報告をお願いする消費者向けパンフレットを1都10県協会の連名にて作成いたしました。(両面)

詳細につきましては、会報と同封しております案内をご覧くださいと思います。各支部にてご注文をお願いいたします。



防災基金へのご協力をお願いします!

お知らせ CHIBAちば
コーナー
 千葉県商工労働部保安課
保安対策室

日ごろから保安行政の推進に御協力いただき、厚くお礼申し上げます。

平成24年の事故情報(速報)をお知らせします。

1 液化石油ガス一般消費者等の事故について

県内で発生した液化石油ガス事故は下記の5件であり、負傷者が1人発生しました。

- ① 一般住宅で、25年間の長期に亘り使用していた給湯付風呂釜が本体ケースの腐食による穴あきなど、燃焼状態が正常でなくなっていたため、風呂の追い焚き中に焼損しました。負傷者なし。
- ② 高等学校の寮で保護者が業務用レンジを使用するため末端ガス栓を開けた際に、誤ってオープン器具栓も開けてしまい、オープン庫内に滞留した未燃ガスに、こんろ点火時の火が引火し、爆発しました。負傷者なし。

③ 店舗で店主が瞬間湯沸器に点火したところ爆発し、店主が負傷しました。
 店内には瞬間湯沸器の他に焼き物器があり、現在詳細を調査中。

④ バルク貯槽への充てん作業終了後、充てんカップリングを外す際に、何らかの原因でバルク貯槽の液取出バルブにカップリングが触れ、同バルブが開き、さらに、このバルブに取り付けてあった閉止プラグにも緩みがあったためLPガスが漏洩しました。負傷者なし。

⑤ 空き地を解体業者が整地している際に、建設機械にて埋設されていたLPガス管をひっかけ、LPガス管が損傷しLPガスが漏洩しました。負傷者なし。
 なお、当該空き地には3年前まで小規模導管供給設備からLPガス供給を受けていた一般消費者が居住していたが、3年前に契約解除し家は解体されていた。

今後とも、LPガス設備の保安点

検調査の確実な実施やLPガス設備の適切な管理、消費者への周知・啓発に努めていただき、LPガス事故の撲滅について、一層の御尽力をお願いします。

2 高圧ガス保安法(液化石油ガス保安規則関係)の事故について

県内で発生した高圧ガス保安法(液化石油ガス保安規則関係)の事故は1件でした。

LPガス配送車が路肩に車輛を寄せて停車中に後続車の2tトラックに追突され、積載していたLPガス容器が路上に転落し、その衝撃等により50kg容器3本のバルブが開きLPガスが噴き出しました。

幸いにして火災や爆発には至らなかったものの、容器の輸送中は交通事故にも十分注意してください。

3 高圧ガス保安法(液化石油ガス容器の喪失・盗難関係)の事故について

県内での液化石油ガス容器の喪失・盗難事故は28件を数え、前年(29件)より減少しました。

空き家の容器を回収する等の対策の徹底をお願いします。

消費者からの相談内容
 千葉県LPガスお客様相談所

お客様相談所で受け付けた昨年の相談件数は昨年の235件から189件と46件の減少となりました。相談内容としては、LPガスの価格については67件(35.4%)、販売店の移動については25件(13.2%)、設備関係については26件(13.8%)、保安については29件(15.3%)、その他42件(22.2%)となっております。

相談内容	第1四半期				第2四半期				第3四半期				第4四半期				合計
	1月	2月	3月	小計	4月	5月	6月	小計	7月	8月	9月	小計	10月	11月	12月	小計	
1 LPガスの価格について	(1) 料金制度、基本料金及び従量料金、料金表について	2	1		3	1		1	2	1	2	3		5	4	9	17
	(2) 他販売店との料金比較について		2		2				0			0				0	2
	(3) 地域における平均料金について	2	2	1	5	2	2	3	7				0	1		1	13
	(4) 都市ガス、電力との料金比較について				0				0				0				0
	(5) 料金の改定について	1	2	12	15	2	1		3	2			2				20
	(6) 未使用期間における基本料金について				0				0				0				0
	(7) 安全機器の設置費用等について				0				0				0				0
	(8) 請求、支払い、滞納、契約について	2		3	5	3	1		4	1	1	1	3				12
	(9) その他	1			1			2	2				0				3
2 販売店の移動について	(10) 他業者(都市ガス、電化、その他含む)からの勧誘について(費用負担・撤去・所有除く)	1	2		3	2	1	1	4	3	2	4	9	1			17
	(11) 他業者(都市ガス、電化、その他含む)に変える際の手順・注意点について(費用負担・撤去・所有除く)	1	2		3				0			2	2				5
	(12) その他	1	1		2				0			1	1				3
3 設備関係について	(13) 供給設備・消費設備の費用負担(移動含)について	2			2	1	1	1	3	1	1	2	4	1	2	1	13
	(14) 供給設備・消費設備の撤去・費用関係について	1	1		2			1	1		1		1		1		5
	(15) 供給設備・消費設備の所有について(14条書面・契約書含む)		2	1	3		3	1	4				0				7
	(16) その他	1			1				0				0				1
4 保安について	(17) 法令、設備基準について(安全機器・集中監視含む)				0		1		1	2		2	4		1	1	7
	(18) 燃焼機器について				0				0				0	1	1		2
	(19) 調査点検について		1		1	1			1				0				2
	(20) 容器処理について(カセットボンベ除)	5	2	1	8	2		1	3	3	1		4		1		16
	(21) その他				0				0		1		1	1			2
5 その他	(22) カセットボンベの処理について				0			2	2				0			1	3
	(23) 保証金について			1	1				0				0				1
	(24) 販売店、メーカーの連絡先の照会について	9	8	2	19	2			2	3	1	4	10	1	2		28
	(25) その他	4	1		5	2	2		4				0	1			10
合計	33	27	21	81	18	12	13	43	15	8	15	38	6	14	7	27	189

青年委員会勉強会レポート「スマートメーターの動向」 矢崎エナジーシステム㈱千葉支店にて 今関智史 青年委員会委員長



LPG 複合スマートハウスの実現に向け、矢崎エナジーシステム株式会社様の御協力を賜り、平成24年11月16日に矢崎エナジーシステム㈱千葉支店においてスマートメーターの動向について勉強会を開催いたしました。

現在、スマートコミュニティの構築を目指し、横浜市・豊田市・京都府・北九州市において、都市ガス会社・電力会社・機器メーカー・住宅メーカー・通信会社・自動車メーカー・CVS等、日本のトップ企業が参加した実証事業が行われています。また、経済産業省においてスマートメーター制度検討会・スマートメーター標準化検討会が開催され、スマートメーターとHEMSとの情報連携に必要な標準インターフェースが決定した事により、導入の加速が見込まれています。

各電力会社は今年の夏から本格導入し、5年以内に総需要の8割をスマートメーター化する計画です。都市ガスも

大手事業者を中心に実証実験を開始し、約1,000件のデータを基に全国展開を目指しています。ガススマートメーターの内容も目を見張るものです。多段中継無線の導入により有線時にネックだったお客様の通信状況に左右される事はありませんし、将来的には自社コンピュータや携帯端末機等にマップ表示出来れば、災害時の状況把握・復旧・報告等、用途が広がるのです。

さて、皆様もそろそろお気付きではないでしょうか。上記の中に一切LPGが無いのです。都市ガス用スマートメーターとLPG用スマートメーターは似て非なるもの、外観は同じなのに、無線通信が出来ないのです。「では、いつからLPG用無線メーターは出来るのですか？」と問うと、「現在、矢崎もメーター工業会も白紙の状態です。」との返答。それでは私達が目指しているLPG複合スマートハウスは「絵に描

いた餅」になってしまいます。この現状を打破するためには、小さな「力」では出来ません。各都道府県協会、全国協会、日団協等関係各位の大いなる「力」が必要です。一会員だとか役付とか関係ありません。LPGを使って頂くお客様のために、会員皆様の「力」で未来ある業界と一緒に造っていきましょう。

勉強会後の懇親会では、各社の事業内容の成功・失敗事例や、地域産業、自社の方向性の話など大いに賑わい、大盛況となりました。

今後も青年委員会では随時、勉強会を行ってまいりますので、奮ってご参加賜りますようお願いいたします。

～言い放題、書き放題～ 女性に疎い男の改革！

女性に好かれる男になる業(第1話)

◎ITの弊害からコミュニケーション・会話が出来なくなった。

このタイトルの「技」を取って「業」と表記したことの意図は、これから適齢期を迎える男性の婚活に是非、生かしてもらいたいからです。ですから、内容については結婚を前提とした基本に立って、具体的な対応策を織り交ぜることから「業」(わざ)を選択しました。

現代の若い男性は、齢70歳の同性から見ると「精神的に優しすぎる」「いざ鎌倉的強さが無い」「時には野獣的行動をとれないのか」等の印象が強く、女性に主導権を握られてしまっているように見えます。そういう筆者自らの日常生活は、正しく妻に主導権を握られ、齢を勘案すると、女性に主導権を与えておくほうが、家庭は平和でありましょう。

今流の若い男性社会を物語っている

言葉に「草食」があります。この反語に「肉食」があります。本来ならば、男性は「肉食」であったはずなのに、「草食」タイプの青年たちが目立ってきました。「草食動物」と言えば「山羊」「牛」「キリン」等が代表格でしょうか。「優しい」「害がない」「自己主張しない」「おとなしい」と言われ、これに似たタイプの人間を揶揄しているのです。

今どきの大学生の情報によると、学生間では仲間を「草食」「肉食」「コミショウ」「ロールキャベツ」のタイプに分け、揶揄しているそうです。「コミショウ」とは「コミュニケーション障害者」を略しており、携帯のメールやEメールなど機械相手には会話が出来ても、直接人と向い合って会話をすることの出来ない人のことを言うそうです。「ロールキャベツ」とは、外側はキャベツの「草食」であっても、内側は肉であって、芯が確りしている人のことを言うそうです。

成程、既に私の経験でも婚活のお手

伝いで「コミショウ君」に遭遇しています。「コミショウ君」はITの弊害からか会話することに関心が薄く、何を話したらいいか、話題を探そうという意欲がありません。婚活は男性が主導権を握り、積極的に会話を深めていく認識と努力が必要です。それすらもなく、携帯メールとEメールに委ねていたのです。

この「コミショウ君」には、初デートの注意点に「映画館はやめたほうがいいよ」と忠告したにも拘らず、入館してしまったのです。何故ならば、映画を鑑賞していれば女性と話さないで済むからでした。女性を嫌ったわけではありません。会話ができないのです。

これからの婚活は、少子化によって長男と長女の組合せが主流になります。長男の共通項は真面目で几帳面です。この長男に長女をどのように理解してもらえるかに懸っています。

記・大塚雅昭

「県所管各種申請書類等のダウンロードについて

千葉県エルピーガス協会HPより千葉県商工労働部保安課様式ダウンロードのページにリンクします
(ホーム>報告・申請書類>県所管様式ダウンロード)



LPGスタンドの現状

東洋液化ガス株式会社 金牧 晴夫
自動車支部

家庭用、業務用LPGを販売している業者の方も、昨今は、「取った、取られた。」と大変なご苦労があることをお伺い致します。これは、どの業界にでも、あること、起こりうることだと思いますが、私ども、LPGスタンド業界も、存続を左右するような事態に向かおうとしています。それは、LPG車の減少にあります。平成19年9月に全国で294,600台ありましたLPG車は、平成24年9月には、243,700台とこの5年間でおよそ50,000台の減少を見ております。今、現在も1月あたり900台程度の減少を続けております。LPGスタンドのお客様の90%は、タクシーのLPG車離れ等々減車理由は、色々あるようです。これに追い討ちをかけているのが、トヨタ自動車のコンフォート(ほぼタクシー専用LPG車)問題です。次世代タクシー

は、ユニバーサルデザインタクシー(車椅子でも乗れるようなタクシー)にと、言う要請が国土交通省から出されています。これに、歩行者保護規制の実行により、コンフォートのモデルチェンジの必要性があるようです。これらの事をふまえ、トヨタでは、2016年度にコンフォートの生産を中止するとの噂話が、タクシー業界、スタンド間で流れ始めています。この話が確定すれば、LPGスタンドは死活問題です。スタンド事業者は設備投資をやめ、スタンド閉鎖の動きも強まると思われま

す。昨年暮れに、先の需要が見込めないと、都内で4事業所が閉鎖しました。今、全タク連、全L協を通し、トヨタ自動車に「LPG車生産継続の要望書」を提出していますが、トヨタより明確な回答は、得られていません。現在は、タクシー車にほぼ限定されているLPG車ですが、今後、一般乗用車もLPG車を利用するようになればと思っています。全国に

1,600箇所
のLPGスタ
ンドがあり
ますが、ガ
ソリンスタ
ンドと比較
すると圧倒
的に少ない
事が長年の
課題になっ
ていました。スタンドの減少は、LPG車の増車には繋がらない。LPG車を増やすには、LPGスタンドも増やさなくてはならない。スタンド経営を維持するには、タクシー以外の需要を開拓する必要があると思います。LPGスタンド事業者は近い将来難しい選択を迫られるものと思います。全L協でLPG車、「販売店1社1台運動」を3年計画で展開いたしました。今年度が最終年度です。導入実績は芳しくありませんでしたが、業界皆様方のご協力に感謝申し上げます。今後とも宜しくお願い申し上げます。



平成24年度 国家試験が終了

高圧ガス保安協会千葉県試験事務所

平成24年11月11日(日)に実施された高圧ガス製造保安責任者等試験の合格発表が平成25年1月7日に行われました。試験結果一覧は下表のとおりでしたので、ご報告致します。

試験の種類	科目の区分	全 国				千 葉			
		出願者数	受験者数	合格者数	合格 率	出願者数	受験者数	合格者数	合格 率
乙種化学	全科目受験	2,050	1,745	525	30.09%	227	195	63	32.31%
	科目免除	1,135	1,111	895	80.56%	188	185	145	78.38%
	計	3,185	2,856	1,420	49.72%	415	380	208	54.74%
丙種化学(炭石)	全科目受験	4,157	3,599	519	14.42%	125	102	22	21.57%
	科目免除	1,097	1,090	1,036	95.05%	27	27	26	96.30%
	計	5,254	4,689	1,555	33.16%	152	129	48	37.21%
丙種化学(特別)	全科目受験	3,663	3,284	548	16.69%	233	210	25	11.90%
	科目免除	2,569	2,533	2,377	93.84%	178	175	160	91.43%
	計	6,232	5,817	2,925	50.28%	411	385	185	48.05%
乙種機械	全科目受験	4,971	4,235	708	16.72%	345	288	38	13.19%
	科目免除	1,892	1,860	1,552	83.44%	140	138	106	76.81%
	計	6,863	6,095	2,260	37.08%	485	426	144	33.80%
第二種冷凍機械	全科目受験	5,032	4,092	1,367	33.41%	289	235	88	37.45%
	科目免除	1,396	1,366	1,289	94.36%	88	85	79	92.94%
	計	6,428	5,458	2,656	48.66%	377	320	167	52.19%
第三種冷凍機械	全科目受験	9,390	8,160	2,675	32.78%	457	374	129	34.49%
	科目免除	1,557	1,520	1,417	93.22%	110	106	99	93.40%
	計	10,947	9,680	4,092	42.27%	567	480	228	47.50%

試験の種類	科目の区分	全 国				千 葉			
		出願者数	受験者数	合格者数	合格 率	出願者数	受験者数	合格者数	合格 率
第一種販売	全科目受験	2,142	1,942	785	40.42%	97	79	32	40.51%
	科目免除	665	654	619	94.65%	28	27	25	92.59%
	計	2,807	2,596	1,404	54.08%	125	106	57	53.77%
第二種販売	全科目受験	4,935	4,446	2,159	48.56%	155	139	70	50.36%
	科目免除	4,215	4,134	3,588	86.79%	134	133	122	91.73%
	計	9,150	8,580	5,747	66.98%	289	272	192	70.59%
合 計	全科目受験	36,340	31,503	9,286	29.46%	1,928	1,622	467	28.79%
	科目免除	14,526	14,268	12,773	89.52%	893	876	762	86.99%
	計	50,866	45,771	22,059	48.19%	2,821	2,498	1,229	49.20%

業種	科目の区分	全 国				千 葉			
		出願者数	受験者数	合格者数	合格 率	出願者数	受験者数	合格者数	合格 率
液化	全科目受験	1,255	1,159	460	39.69%	44	36	21	58.33%
	科目免除	-	442	315	71.27%	-	21	16	76.19%
石油	全科目受験	-	442	315	71.27%	-	21	16	76.19%
	科目免除	67	67	43	64.18%	-	-	-	-
ガス	全科目受験	-	509	358	70.33%	-	21	16	76.19%
	科目免除	-	509	358	70.33%	-	21	16	76.19%
設備	全科目受験	1,322	-	-	-	44	-	-	-
	科目免除	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	全科目受験	1,322	-	-	-	44	-	-	-
合 計	科目免除	-	442	315	71.27%	-	21	16	76.19%

※ 全科目免除者に係る集計は除いています。

防災・減災を 考えて



いざという時に困らない。だれもが考えていると思いますが、時が過ぎればどこかに忘れてしまう。私達が身に覚えている範囲では、今から18年前の阪神・淡路大震災以来、日本は地震の活動期に入り、7年前には中越地震が、そして2年前には東日本大震災が起きました。今後、大きな地

震があると予測している学者もいます。しかし、東日本大震災後 防災意識が高まったとはいえないと思います。あの日から2年にもなろうとしています。国の政策すらかけ声だけで先が見えない現状です。日本は、地震だけでなく津波、台風、集中豪雨と次から次へと災害が相次ぐ災害列島です。災害時の被災者に少しでも早く復興してもらえるように願っています。私達も各市町村との防災協定も結ん

でおりますが各支部内の組織ももう一度見直してみてもどうでしょうか。今、県協会もいろいろな面で大変な時です。このような時に防災基金の設立に取り組んでいます。会員皆様方のご理解、御協力をお願いいたします。そして、これを契機に、今一度、防災・減災を考えてみてはどうでしょうか。

横山 一洋記